日立 IH クッキングヒーター
（ビルトインタイプ）

設置説明書

型式 HT-40　（ブラック）
型式 HT-40S　（シルバー）

HITATCHI
Inspire the Next

設置される方へのお願い

- この設置説明書は、保証書、取扱説明書、揚げ物調理ご注意ガイドとともに必ずお客様にお渡しください。
- 本体設置時に、トッププレートや操作部ユニットを分解しないでください。
- キャビネット下部にオーブンレンジを設置しないでください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。

安全のため必ずお守りください

設置をする前に、この設置説明書をよくお読みになり、正しく設置をしてください。

ここに示した注意事項は、
表示内容を無視して誤った使いかたや設置や工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

「警告や注意を促す」内容のものです。

してはいけない「禁止」の内容です。

実行しなければならない「指示」内容のものです。

⚠警告

設置は、この「設置説明書」に従って、確実に行う（ブレーカーは「切」にして行ってください）
設置に不備があると、漏電・火災の原因になります。

200V－20A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する
この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれがあり、感電・火災の原因になります。

分解禁止
分解・修理・改造は行わない
発火・異常動作してけがをするおそれがあります。

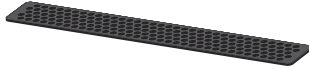
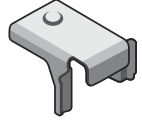
電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行う
接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。

アース線を接続せよ
アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
漏電時に感電のおそれがあります。

設置は、製品の重量に十分に耐える所に確実に行う
耐重量不足や取付が不完全な場合、製品の落下や転倒によりけがをするおそれがあります。

⚠注意

トッププレートに衝撃を加えない
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。
トッププレートの上に乗ったり物を落としたりしない。

試運転中は、トッププレートなどの高温部に触れない
やけどのおそれがあります。

カウンタートップの材料は、耐熱材料のものを使う
熱硬化樹脂化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上の耐熱性を有する材料
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。
ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

製品近傍のシステムキッチンの材料は、95℃以上に耐えるものを使う
システムキッチンの変色・変形の原因になります。

設置をされる方へのお願い

●このIHクッキングヒーターは、適切な電気工事と設置がされていませんと性能が十分発揮できないばかりか、過熱などの危険が生じる場合がありますので、この設置説明書をよくお読みのうえ、適切な設置をお願い致します。システムキッチンなどに組込んでください。
●電気工事は、必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。
●設置完了後は、「設置完了後の確認」を行い、お客様へご説明ください。
●付属品の確認をしてください。
●ガスの配管やガスメーター、ガス栓等のガス工作物は無断で撤去しないでください。法令により規制されていますので、事前にガス事業者へ連絡してください。

排気カバー	固定金具	蝶ボルト
1個	1個	1個

※保証書、取扱説明書、揚げ物調理ご注意ガイドがあることを確認してください。

⚠警告

設置するときは、火災予防条例に基づき、必ず可燃物との離隔距離を守る
離隔距離が近いと火災の原因になります。

電源電線およびアース線は、電源プラグを外して直結しない
漏電やショートによる感電・発火の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込む
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電や火災の原因になります。

電 気 工 事　必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

●IHクッキングヒーターは、専用回路（1台のクッキングヒーターに1分岐回路）を設置してください。

専用回路、漏電しゃ断器の設置

●専用回路、漏電しゃ断器を設置してください。

専用回路	漏電しゃ断器
ブレーカー付き 単相200V・20A	定格電流：20A 感度電流：15mA

※三相200V（動力電源）には接続しないでください。

屋内配線用電線、コンセントの形状

●IHクッキングヒーター用のコンセントは規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

器具の容量	幹線の太さ	コンセントの形状
20A	φ2.0mm	単相200V用（接地極付） 250V−20A

※D種接地工事（100Ω以下）を必ず行ってください。

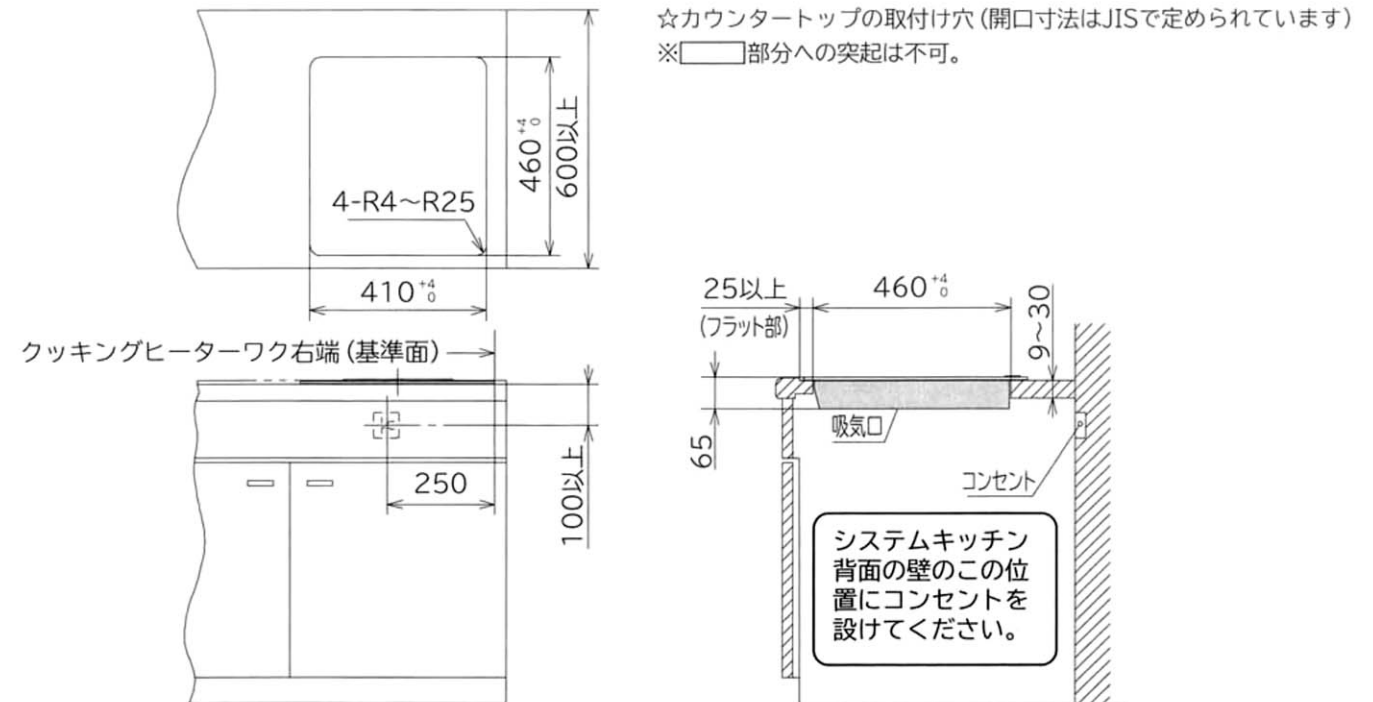
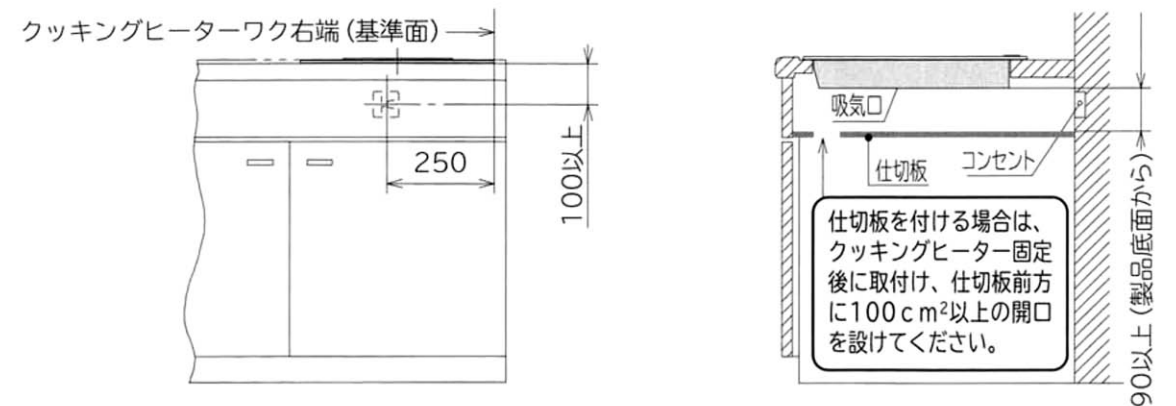
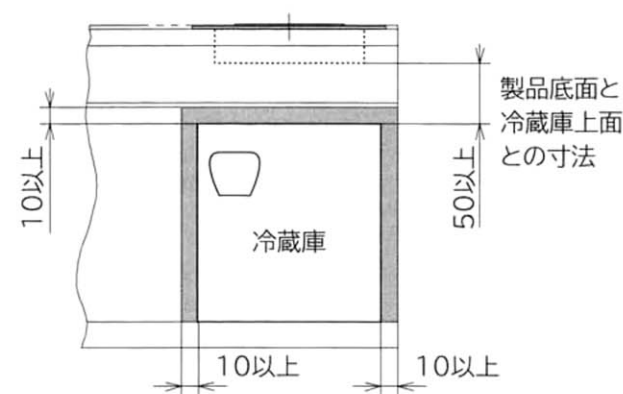
【オートパワーオフの時間の切り替えについて】

本IHクッキングヒーターは、工場出荷時 約10分でオートパワーオフするように設定しておりますが、約30分に切り替えることもできます。オートパワーオフするまでの時間が短いなどで、ご使用上不便なときに選べます。詳細は、お買上げの販売店へお問い合わせください。

●切り替え方法
①右IHヒータータイマー操作部の ◀ と右IHヒーター操作部の ▶ 2つのボタンを同時に押しながら電源スイッチを押し電源を入れる。
➡右IHヒータータイマー表示部に 10 が表示される。
②右IHヒータータイマー操作部の ▶ を押す➡ 30 が表示され約30分に設定される。
③右IHヒータータイマー操作部の ◀ を押す➡ 10 が表示され約10分に設定される。
※キーを押さない状態で5秒経過すると、切り替えられなくなります。このときは、再度①②③の操作を行ってください。
④電源スイッチを押して電源を切る。
※設定の確認は①の操作を行ってください。設定の確認後は電源スイッチを押して電源を切ってください。

システムキッチンとの関係寸法　（単位：mm）

●キッチンに組込む場合は、製品吸気口に外気を取り入れるための開口が必要です。

☆カウンタートップの取付け穴（開口寸法はJISで定められています）
※□部分への突起は不可。

仕切板を付ける場合

冷蔵庫タイプの場合

設置場所の確認

●火災予防条例、電気設備技術基準第59条に従って設置してください。
●カウンタートップは熱硬化樹脂化粧板（JIS K 6903）と同等以上の耐熱性があるものを使用してください。
ニス引きのものは変色しますので使わないでください。
●製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または IH クッキングヒーターの金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。

⚠注意

製品は水平に設置する
製品が傾いていると、鍋が滑り落ち、やけどやけがの原因になります。

●製品は火災予防上、可燃物との間を図のように離して取り付けてください。

■クッキングヒーターは火災予防上、可燃物との間を図のように離して設置してください。

●製品の前面はできるだけ広く（60cm以上）あけて冷蔵庫、家具などの扉が当たらないようにしてください。

［消防法 基準適合 組込形］

■左記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。

●防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の可燃物温度が室温35℃の時100℃を越えない断熱性を有すること。

製品寸法図 （単位：mm）

上面図

側面固定金具（左側）締め付け位置
側面固定金具（右側）締め付け位置
φ200
φ200
520
151
192
(259)
176
450

前面図

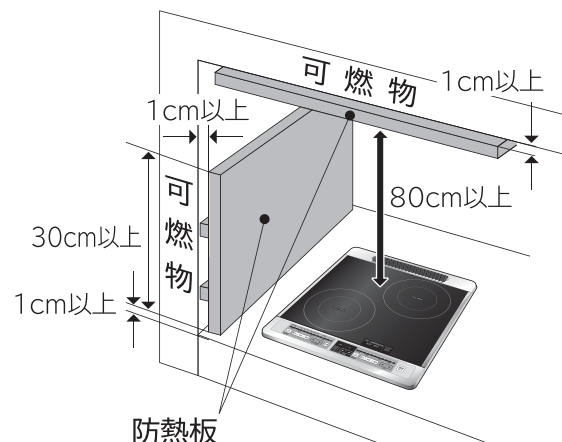
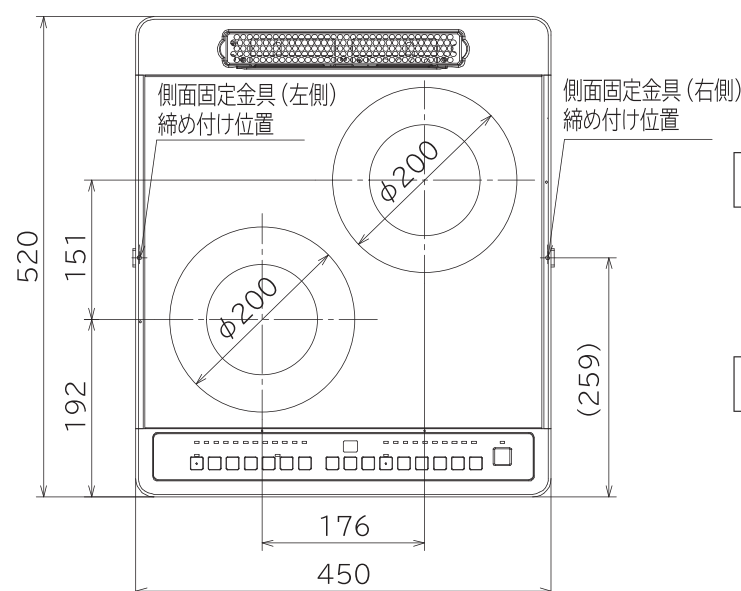
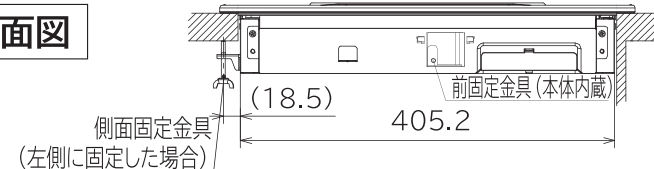
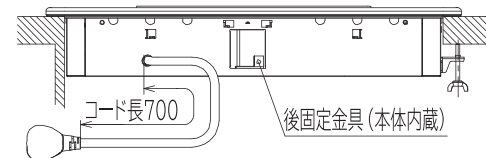
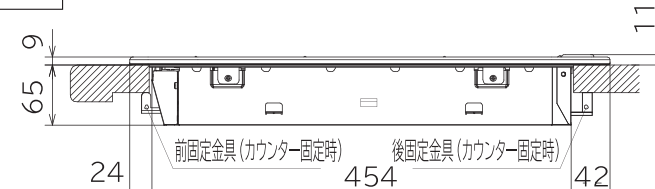
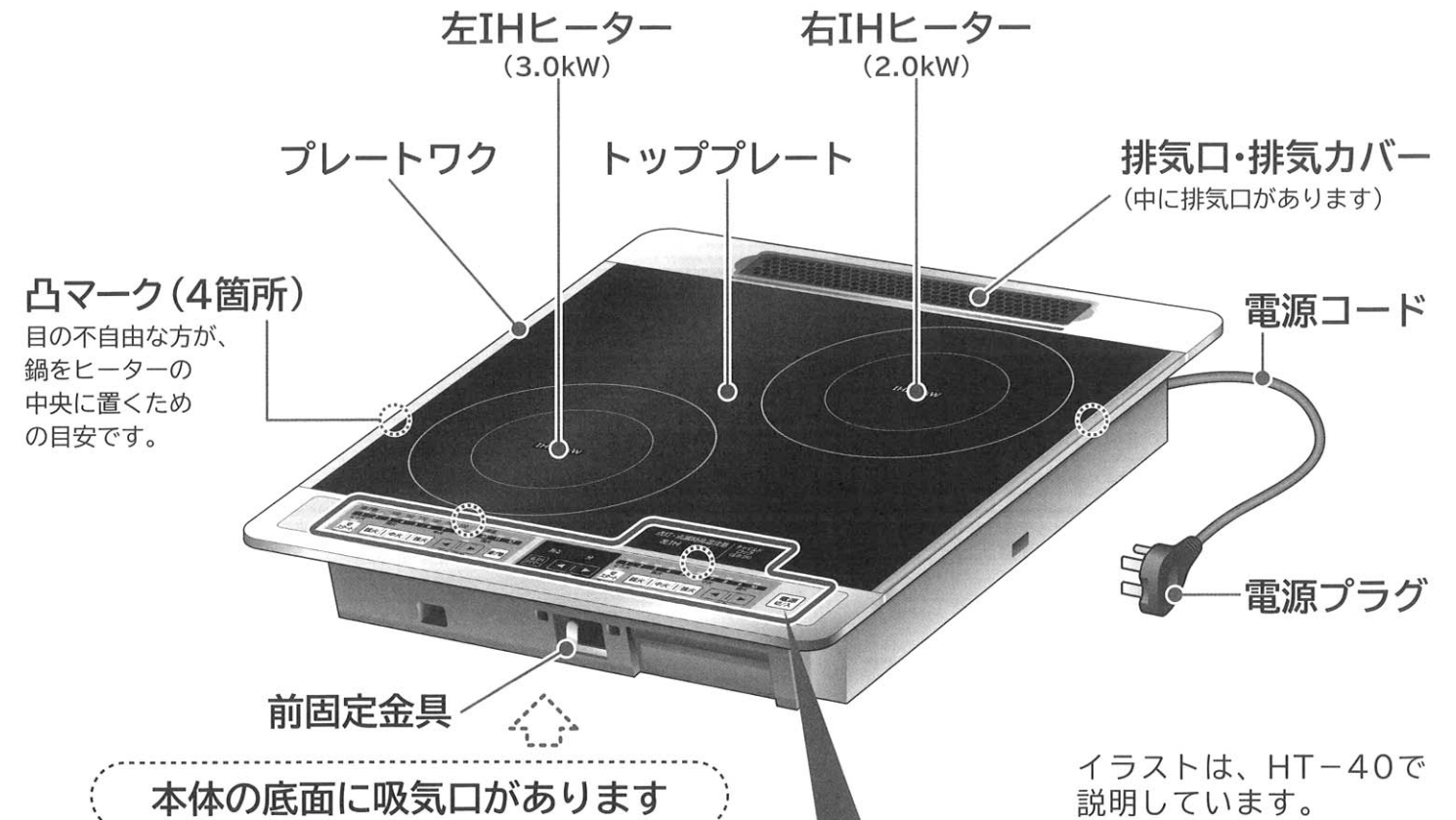
(18.5)
405.2
前固定金具（本体内蔵）
側面固定金具（左側に固定した場合）

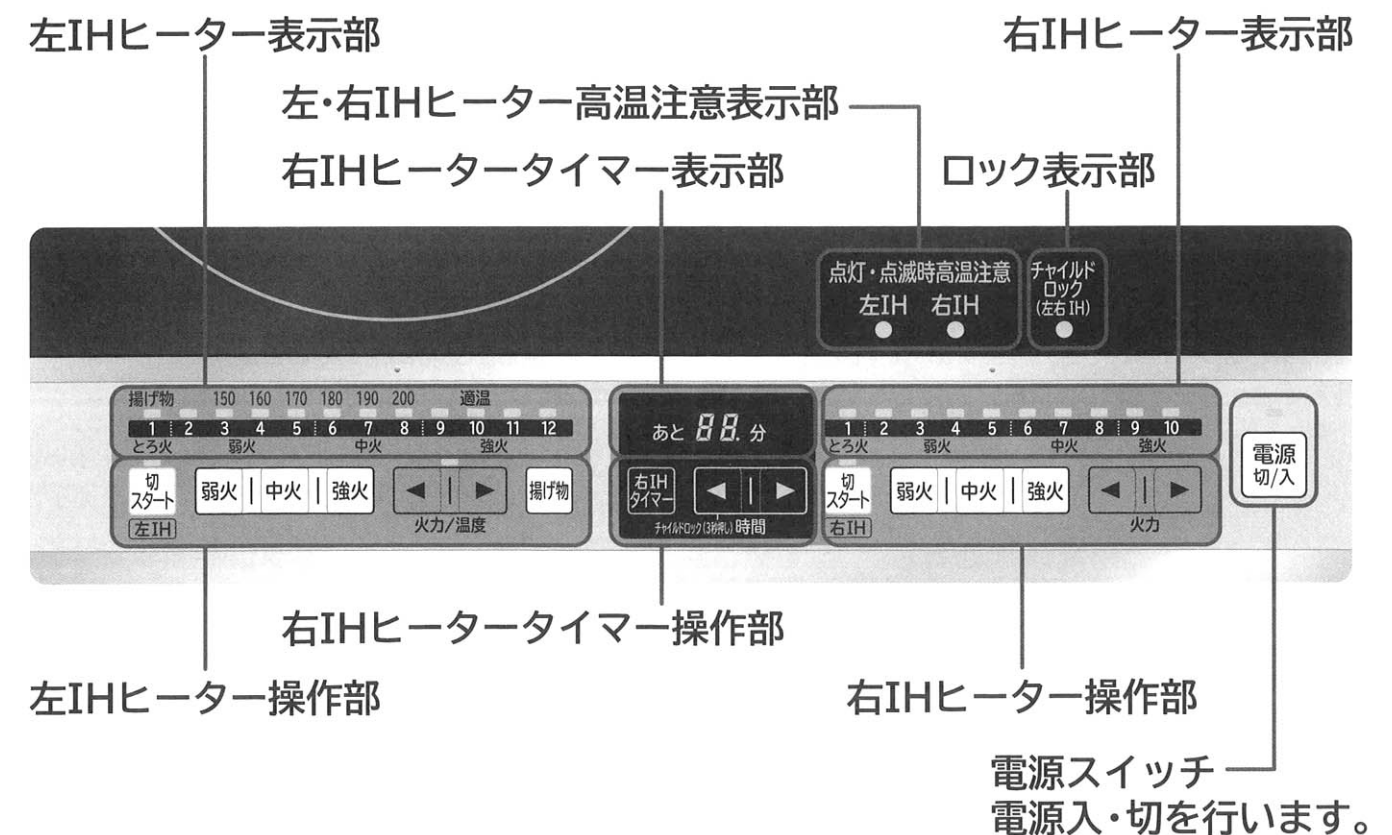
後面図

コード長700
後固定金具（本体内蔵）

側面図

9
65
11
24
454
42
前固定金具（カウンター固定時）
後固定金具（カウンター固定時）

各部のなまえ

左IHヒーター（3.0kW）
右IHヒーター（2.0kW）
プレートワク
トッププレート
排気口・排気カバー（中に排気口があります）
凸マーク（4箇所）
目の不自由な方が、鍋をヒーターの中央に置くための目安です。
電源コード
電源プラグ
前固定金具
本体の底面に吸気口があります
イラストは、HT－40で説明しています。

操作パネル

左IHヒーター表示部
右IHヒーター表示部
左・右IHヒーター高温注意表示部
右IHヒータータイマー表示部
ロック表示部
点灯・点滅時高温注意 左IH 右IH
チャイルドロック（左右IH）
揚げ物 150 160 170 180 190 200 適温
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
とろ火 弱火 中火 強火
切 スタート 左IH 弱火 中火 強火 火力/温度 揚げ物
あと 88 分
右IHタイマー 時間
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
切 スタート 右IH 弱火 中火 強火 火力
電源 切/入
右IHヒータータイマー操作部
左IHヒーター操作部
右IHヒーター操作部
電源スイッチ
電源入・切を行います。

設置方法　必ずブレーカーをしゃ断して設置を行ってください。

※トッププレートは、外さないでください。

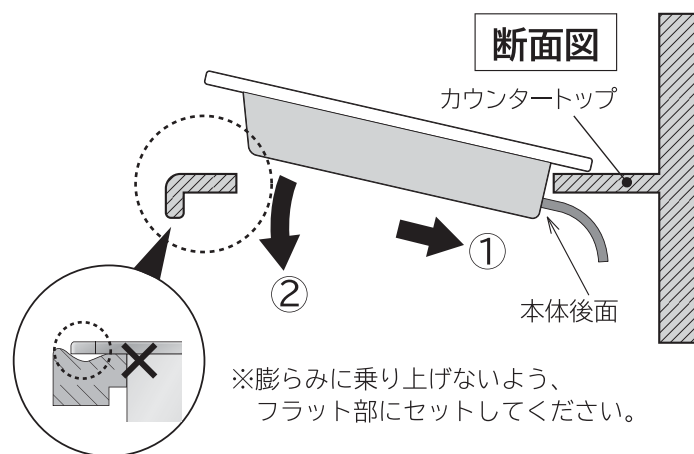
1 電源プラグを差し込む

●カウンタートップに傷をつけないよう、段ボール板を敷いてください。
●前・後固定金具（本体に取り付け済み）が本体に密着していることを確認してください。（カウンタートップに傷がつく原因になります）

2 カウンタートップに本体の後面を挿入してから全体をはめ込む

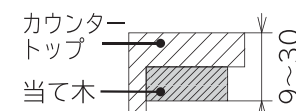
●電源コードを本体とキャビネットの間に挟まないようご注意ください。
●プレートワク裏側のパッキンがめくれたり、はみ出したりしないように注意してください。
●カウンタートップと本体のトッププレートのすき間が全周にないことを確認してください。

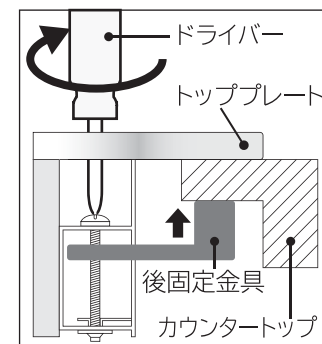
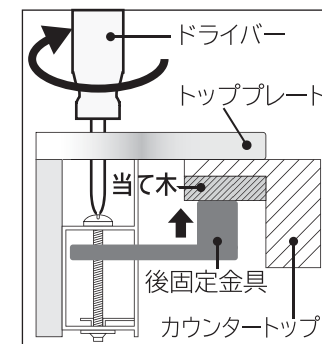
カウンタートップが反っているなどですき間がある場合は別売のボウスイテープ（HTC-4CB　031：メーカー希望小売価格525円（税抜500円、2011年5月現在））を用い、すき間を塞いでください。（水浸入防止のため）

※膨らみに乗り上げないよう、フラット部にセットしてください。

3 本体の位置を調整する

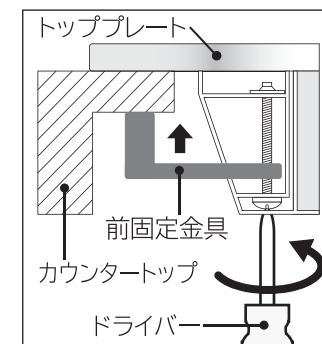
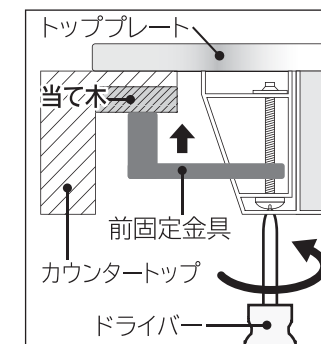
●本体の位置を調節する場合は、本体を持ち上げて調節してください。本体を持ち上げないで位置を調節すると、プレートワクの裏側のパッキンがはみ出る場合があります。

4 本体を固定する

カウンタートップの厚みについて
●カウンタートップの厚みが9mm未満の場合は、右図のように当て木を添えてください。

①後固定金具（本体に取り付け済み）の固定

●ドライバーを入れ、後固定金具のネジを確実に締め付ける。
※締め付けトルクは40～50N·cmとする。

※後固定金具が持ち上がり、カウンタートップに固定され、シール性が確保されます。

※カウンタートップの厚みが薄くて後固定金具が固定できない場合は当て木を添えてください。

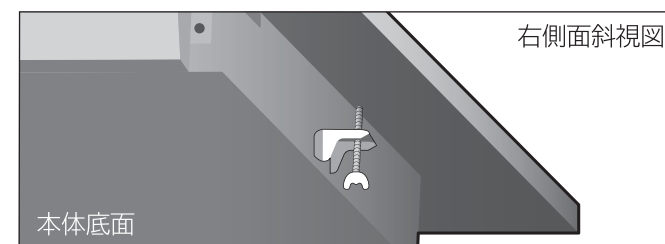
②前固定金具（本体に取り付け済み）の固定

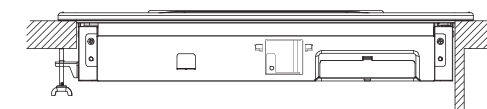
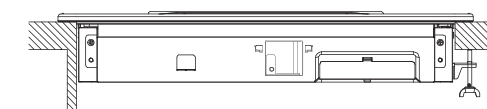
●底面からドライバーを入れ、前固定金具のネジを確実に締め付ける。※締め付けトルクは40～50N·cmとする。
●①②で固定できた場合、付属の固定金具、蝶ボルトは使用しない。

※前固定金具が持ち上がり、カウンタートップに固定され、シール性が確保されます。

※カウンタートップの厚みが薄くて前固定金具が固定できない場合は当て木を添えてください。

前固定金具で固定できない場合

③側面固定金具の固定（付属の固定金具、蝶ボルトを使用する）

●左右側面のどちらか一方を固定する。
※カウンタートップの厚みが薄くて側面固定金具が固定できない場合は当て木を添えてください。

1.固定金具に蝶ボルトを軽くねじ込む
2.固定金具（蝶ボルト付き）を本体側面の角穴にひっかける

3.カウンタートップへ蝶ボルトを締め付ける

右壁面の場合

左壁面の場合

5 排気カバーを取り付ける

設置完了後の確認

●通電をする前に、トッププレートの上に梱包材がないことを確認してください。
●設置終了後、次の手順で確認してください。

	確　認　項　目	確認欄
梱包材の取り外し	トッププレート上に梱包材がないことを確認してください。	
付属品などの取り付け	本体を固定しましたか。	
	排気カバーを取り付けましたか。	
電気工事	アースが設置されていますか。	
	漏電しゃ断器が設置されていますか。	
	電源プラグを接続しましたか。	
試運転	①クッキングヒーター用の電源電圧が「単相200V」であることを確認してください。 電圧異常の場合は C 6 1 を表示します。(右IHヒータータイマー表示部に C⇔6 1 を交互に表示します) あと C 分　交互に表示　あと 6 1 分	
	②電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。 ▶ ●電源ランプが点灯します。	
	③各IHヒーターを「入」にして、通電を確認してください。 鍋にコップ1杯程度(約200mL)の水を入れ、IHヒーターの中央に置き、「中火」キーを押した後、「切/スタート」キーを押してください。 ※鍋を置かないと通電しません。 空だきはしないでください。 ▶ ●操作パネルの通電ランプとIHヒーター表示部の火力表示ランプが点灯します。 しばらくすると、お湯が沸とうします。	

◎各ヒーターを停止後、約10分(または約30分)経過するとオートパワーオフが働き、自動的に電源ランプが消灯し、電源が切れます。

●確認終了後は必ず電源スイッチを押して電源を切ってください。
電源を「切」にした場合でも継続して冷却ファンが回ることがありますが、異常ではありません。本体内部の回路を保護するために、キー操作後冷却ファンが最大約90秒間作動します。(自動的に冷却ファンは止まります)

●試運転はIHで使える鍋を使用してください。
(鍋底に磁石がつくもので、底の平らな部分が直径12～26cmのもの。底の反りが3mm以下のもの)

日立アプライアンス株式会社
〒105−8410　東京都港区西新橋 2−15−12　電話 (03)3502−2111